

# 作業療法 第43巻 第6号 (通巻243号) 目次

## ◆巻頭言

事例報告の重要性

—失敗は成功のもと— . . . . . 中島 そのみ 725

## ◆原著論文

頸椎症性脊髄症におけるPurdue Pegboard Test を用いた巧緻運動障害

スクリーニング検査の有用性 . . . . . 桑野 友美・他 727

介護老人保健施設でボランティア活動に参加する後期高齢者の活動継続プロセス

. . . . . 小島 弘行・他 734

アルツハイマー型認知症高齢者の「食事行為の自立を促す支援プロセス」の検討

—作業療法士の食事支援による行為分析から— . . . . . 濱本 尊博・他 746

自閉スペクトラム症児が学校生活において認識する作業機能障害の質的解明

. . . . . 片岡 紗弓・他 755

臨床実習における作業療法学生の高次脳機能障害に対する理解・実践能力の自己評価

. . . . . 小手川 耕平・他 764

## ◆実践報告

3D 技術を使用した手指切断に対する訓練用仮義手の作製の実際 (5 症例)

. . . . . 小林 伸江・他 773

包括的環境要因調査票を用いた生活行為向上マネジメントによる実践が有効であった

訪問リハビリテーションの事例 . . . . . 伊藤 竜司・他 781

心理的要因による脳卒中後麻痺側上肢使用の低下に対する定量的上肢活動量評価

を用いた行動変容介入の効果

—症例報告— . . . . . 南川 勇二・他 789

橈骨遠位端骨折患者の患手を使用した大切な作業への取り組みにおける

カナダ作業遂行測定と自己モニタリングシートを併用した作業療法実践の効果

. . . . . 鈴木 満恵・他 797

頸髄損傷者の運動時深部温上昇を抑制するためのアイスラリー摂取の可能性を

探索する予備的研究 . . . . . 中村 知寛・他 805

睡眠障害を呈する認知症患者の生活リズム改善のための多職種連携による包括的アプローチ

—生活リズムの可視化による介入の効果検証— . . . . . 木田 麻衣・他 812

幼稚園における作業を基盤とした作業療法実践により作業遂行が変化した事例

. . . . . 宍戸 聖弥・他 821

## 編集後記

▶ 43 巻 6 号をお届けできることを嬉しく思う。最近、学術界隈の仕事をしていると、研究倫理、オーサーシップ、COI、著作権、AI アプリ利用状況など、研究実施や論文投稿時に遵守・報告すべき事項が増えていると感じる。また、論文のフリーアクセス・オープンアクセス化が加速している。今後は、論文に掲載されている図表の根拠データ（場合によっては生データ）の公開も進む見通しである。全人類の英知の信頼性向上と共有といえば聞こえはよいが、研究を行うときのハードルが高くなっていると言わざるをえない。そのような中、本号掲載の 12 編は、臨床と養成校（大学院含む）が手を取り辿り着いた一つの英知が詰まっている。作業療法らしさを感じながら読み進めよう。（T・S）

▶ 勤務する大学で開学して初めての、1 期生による第 1 回の卒業研究発表会が開催された。学生の成長と指導教員の熱を感じる発表会だった。一連の研究プロセスを経験し、研究者としてスタートラインに立った 12 名のうち何人が卒業後にも研究を行ってくれるだろうか。彼らがこれから働く職場に、研究を指導してくれる先輩作業療法士がいることを期待したい。職場に研究指導者が得られない場合には、ぜひ母校の教員を頼ってきてもらいたい。近い将来、彼らが学術誌『作業療法』に投稿してくれる日を楽しみに待ちつつ、私も先輩から受け継いだ灯を守り次の世代に引き継げるよう、粛々と査読・編集業務に取り組みたい。（E・M）